

全国漢文教育学会学習指導案

授業者 田中 怜

1 対象学年 横浜市立中学校第二学年(約160名)

2 教材名 「漢詩の風景」、「魅力的な提案をしよう」(「魅力を効果的に伝えよう」)
全9(10)時間計画

3 単元名・目標

単元名「漢詩を身近にとらえよう!～昔と今を結び付ける～」

単元目標「漢詩を現代と結び付け、鑑賞しよう」

4 評価観点

(知識・技能)

(ア)作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。

(イ)現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。

(思考・判断・表現)

(ウ)根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫できる。

(オ)文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、考えを広げたり深めたりできる。

(主体的に取り組む態度)

現代語訳などを参考に漢詩を読解し、当時の見方・考え方に触れた上で、根拠をもって自分の考えについて書こうとしている。

5 これまでの学習過程・準備・意図

一年生の段階で「今に生きる言葉」を学習し、漢文の基礎や故事成語について学習をしている。また、古文において「現代まで竹取物語が読まれているのはなぜか」という題材で作文をさせ、古典と現代との比較をさせた。その際に古典に関して苦手意識をもっていた生徒たちが、自分の知っている現代作品などと「竹取物語」を関連付ける活動を積極的に行っていた様子から、今回の授業を構想した。

今回は「漢詩を身近に感じつつ、主体的に学習に取り組めるような授業づくり」をテーマに授業を計画した。事前準備として、一年次の最後・本学習の直前に生徒へ「今、中学生で流行っている・みんな知っている好きな曲」のアンケートを取った。(資料①)そのデータを参考に、教員でそれらの現代曲に近いテーマの漢詩を探し、「現代と比較しやすい漢詩」をまとめた。(資料②)この漢詩の中から、実際に教員

で具体的な比較例まで作れた五首をピックアップして生徒に提示した。生徒たちはそれらの五首、もしくは自分で調べた漢詩と自身の知る曲と結び付けて考えるという活動を行い、現代と結び付けることで漢詩学習に対してより積極的に取り組むことができると想定した。また、現代曲について知識のない生徒でも学びに参加できるよう、生徒のアンケートで挙がった曲を「現代曲クイズ」として授業冒頭に復習クイズとともに提示した。

※以下、アンケートの際に確認した漢詩についての意識調査

「漢詩」とはどんなものか知っていますか？



125件の回答



資料①「現代で人気・有名な曲アンケート結果」全150人弱 ※一年次・3月に実施

今回アンケートを取った結果、50曲以上の曲名が挙がった。その中では以下の5曲を比較活動に活用しているグループがあった。一方で、ほとんどの曲は比較に用いた曲とは一致せず、実際に生徒が活用した曲は国民的アニメや映画の主題歌になる曲が多かった。

〈五票以上のもの〉それぞれの曲テーマやキーフレーズなどの要約

- ・BackNumber 「水平線」…自分を知る、人として大切なこと
- ・Honeyworks 「可愛くてごめん」…強く生きる、美人である自分
- ・Tani yuuki 「W/X/Y」…スローライフ、年を取るまで一緒にいたい

〈三票以上のもの〉

- ・BackNumber 「高嶺の花子さん」…夏、美人に振り向いてほしい願望
- ・優里 「ペテルギウス」…星、祈り

資料②「実際の漢詩と現代曲の比較例」

Ado「風のゆくえ」と李白「黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る」(以下「黄鶴楼」)

①作品の題材・内容

「風のゆくえ」…海原へ旅立つ友との別れを描いている。

「黄鶴楼」…広陵へ旅立つ友、孟浩然との別れを描いている。

②作品のテーマ・メッセージ

「風のゆくえ」…友との別れがたさ。海の彼方まで見送り続ける人物の視点。

「黄鶴楼」…友との別れがたさ。長江の彼方まで見送る李白の姿。

③ 表現や言葉

「風のゆくえ」…「見えなくなるまで手をふる」、「また会いたいと船が消えていく」

→見えなくなる友の姿。再会を誓う。

「黄鶴楼」…「孤帆の遠影、碧空に尽き、唯だ見る長江の天際に流るるを」

→見えなくなる友の姿。自然の風景に消える様子。

詩の組み合わせ	題材	テーマ・メッセージ	技法・表現
<p>現 ado「風のゆくえ」</p> <p>漢 李白「黄鶴楼」</p> <p>※この例を生徒に作品例として提示</p>	<p>「友情」</p> <p>現「友との別れ」</p> <p>漢「友との別れ」</p>	<p>「別れがたさ」</p> <p>現「海の彼方まで見送り続ける」</p> <p>漢「海の彼方まで見送り続ける」</p>	<p>現「見えなくなるまで手をふる」</p> <p>「また会いたいと船が消えていく」</p> <p>漢「見えなくなるまで見送り続ける」「船が消えていく」</p>

(その他例として考えられた漢詩作品)

- ・唐風「葛生」…死んで一緒になろう、大切な人のいない寂しさ。(形式が難しいため断念)
- ・「上邪」…この世の終わりまで一緒に居よう。(形式が難しいため断念)
- ・「子夜四時歌」…スカートがめくれて笑う男子。(内容により断念)
- ・「讀曲歌八十九首」…ただあなたと呼ぶ。(対応する現代曲の時代が古いため断念)

6 単元計画

時数	単元を通してつけてほしい能力 評価対象	学習の内容
1	<p>○自分で目標をたて、そのために必要なことを考える力。</p> <p>・ノートや学びのプランで評価</p>	<p>1、学びのプランで全体をイメージする。</p> <p>2、学びたいことルートマップ作製。</p> <p>3、「漢詩の風景」を朗読し、漢詩に描かれている情景や作られた背景について理解を深める。</p>
2 3 4	<p>○作品の特徴を生かして朗読し古典の世界に親しむ。</p> <p>・ノートで評価</p>	<p>1、漢詩を繰り返し音読し、リズムや描かれた情景などについて理解を深める。(発問中心)</p> <p>2、詩の形式や押韻について確認する。</p> <p>3、漢詩に描かれている情景について自分なりに解釈してまとめる。(教科書の四首)</p> <p>→PC で例を示し、教科書の文章中を切り取って簡潔にまとめさせる。</p> <p>4、3～4人班を作り、内容を確認させて修正させる。</p> <p>5、当時の時代背景などを教員が説明し、時代背景も記述させる。</p>
5 7 (+1)	<p>○目的の情報を正確に読み取り、まとめる力。</p> <p>○根拠をもって説得力のある文章を作る力。</p> <p>○自身の経験や知識と学習内容を結び付ける力。</p>	<p>1、前時の学習を参考に教員が示した5首を読解し、共通する現代曲を探し、比較する。(5首以外の作品でも可)</p> <p>2、2つの作品の共通点を3つの観点でまとめる。</p> <p>☐ 題材(五感的なものや描かれた風景)</p> <p>☑ 作品のテーマ・メッセージ性(心情など)</p> <p>☑ 技法や表現(押韻や比喻など)</p> <p>3、それについて各班で一つのスライドを作成する。</p>

	<p>・PC で評価</p>	<p>(班での仕事分担)</p> <p>①2つの曲の時代背景や詳細データ (作者、時代、どんな出来事があったのかなど)</p> <p>②題材とされたもののテーマ・内容について (例)歌詞や、どういった感情を歌っているか等</p> <p>③それぞれの内容の比較(共通・相違など)</p> <p>④比較することで見えてきたこと・わかったこと →両者のとらえ方の違いや魅力など</p> <p>4、作ったスライドをPC上で共有する。</p> <p>5、Google foam のアンケート機能を活用し、相互評価を行なう。</p>
8・9	<p>○漢詩の内容を読み取り、理解する力。</p> <p>○読み取った内容を自分なりに解釈し、鑑賞文を書く力。</p> <p>・プリントで評価</p>	<p>1、漢詩の描かれている情景などについて自分なりに解釈してまとめ、作品を理解する。(教科書の四首をプリントで鑑賞)</p> <p>2、理解した内容を鑑賞文として自分なりにまとめる。</p> <p>3、前回のグループで書いた鑑賞文を交流する。</p>

分4(5)人でそれぞれ

スライドの鑑賞形式・漢詩について

- 各クラス最大38名(個別級を除く)のため、各班4~5名で9班を作る。
- 3班ごとに A・B・C グループを作る。そのグループ内で発表し、グループフォームで評価を共有する。
- A・B・C グループで1班ずつ同時発表をおこなう。
- 発表時、各班の代表者に発表風景を録画させる。
→後日提出させて教員で確認。
- 各班発表時間は3~5分(交代1~2分)計20分
- 質問時間を必ず設け、それに答える。
- 投票後上位3班をTV付きで発表させる。

○選ばせる漢詩について

・下の表にある5種類(基本)

・その他漢詩のテーマを列挙し、それを基に漢詩自体を調べさせたり、比較する曲を探したりする。

(テーマ例)

- ① 故郷について ② 家族への思い ③ 親友への思い ④ 孤独・孤高 ⑤ 祝い事 ⑥ 四季について

